

家族と向き合い、積極的に「育児参画」をしている男性が増えています

育児に積極的な方をご紹介します！



菅谷 和希さん(桜台)
子供：3人(男の子3歳、男の子1歳、男の子0歳)

夫婦で家事・育児について話し合うのが1番。

Q 育児・家事で、意識をしていることはありますか。

A あまり分担はせず、お互いに家事・育児がスムーズに出来ればいいなと思っています。子どもが増えると育児の比重が増え、分担通りになかなかならないので、妻が「こつち」をやっているから、私は「あつち」をやろうと協力し合っています。

Q どのように育児休業を活用するのが良いと思いますか。

A 私は、経済的な面から育児休業を取っていませんが、今回の改正で産後パパ育休が創設され、出産直後から男性が育休を取りやすくなると思います。

産後の女性は身体的・精神的にも不安定になりやすいので、制度を利用し、退院後は一緒に過ごしながら生活のリズムを作れたら良いのではないのでしょうか。



育休取得中の役場職員を紹介！



福祉課 板倉 秀樹さん
子供：3人(男の子4歳、女の子2歳、女の子0歳)
約半年間の育児休業を取得

家族で育児の喜びを共感できることは「今」しかない貴重な経験。

Q 育児休業中の過ごし方や、休業中で大変なことはありましたか。

A 家事や子どもと遊んだり、お風呂や寝かしつけをしたりして過ごしています。初めの1ヶ月間は、家事育児を1人でやることが多かったので大変でした。

Q 育児休業を取ってよかったことを教えてください。

A 家事育児を分担制にし平等に行う事で、お互いの負担を軽減できた事です。一瞬で過ぎてしまふ乳児期や他の子ども達とじっくり関わり、成長を見る事ができ、夫婦で喜びを共感し合えた事が良かったです。



≪プレパパ参加者も！≫



ウェルカムベビークラスを開催しています

健康づくりセンタープラムで、安心して赤ちゃんを迎えられるよう、妊娠後期の妊婦さんを対象としたウェルカムベビークラスを開催しています。

クラスでは、助産師さんから妊娠期の体づくりや夫の役割などについてのお話、父親の妊婦体験、赤ちゃんの人形を用いた沐浴練習を通して、妊娠・出産を迎えるための準備をします。

パパ・ママ同士の交流は、同じ妊娠・出産・育児に対する疑問を共有することで、不安の解消につながるかもしれません。ぜひ、ご参加ください。

健康子ども課健康づくり班

☎(82)3400